

科学コミュニケーションは妄信と不信をとりのぞけるか

2019年7月31日（水）16:45～18:15

ゲスト 塩瀬 隆之（京都大学 総合博物館 准教授）

科学技術に対する反応としては、正確な内容を理解しないまま信じ込んでしまう「盲信」や、その正反対の「不信」が見られます。科学コミュニケーションは、このふたつを取り除けるのでしょうか？科学コミュニケーションが直面するこの難問について、京都大学総合博物館准教授の塩瀬隆之さんのお話をうかがいます。参加者みんなで悩みましょう。（主催者より）

会場 京都大学 吉田キャンパス 文系学部校舎4階
405号室「人社未来形発信ユニットII」
*文系学部校舎は右の地図の7番の建物です。（時計台は3番です。8番の「文学部校舎」とお間違えのないようご注意ください）

定員 20名程度
*定員を超えた場合は、脇見となります。
*当日参加も可能です！
*お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 とくになし

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志（今回の担当：清水智樹）
*この研究会は、京都大学「学問と社会をつなぐコミュニケーション探究ライトユニット」（現在設立準備中）の第1回研究会と共同開催いたします。



お申し込みはコチラから → <https://bit.ly/2mgJyjQ>